

益子芳星高校
生徒が考えた

ラボとコラボ



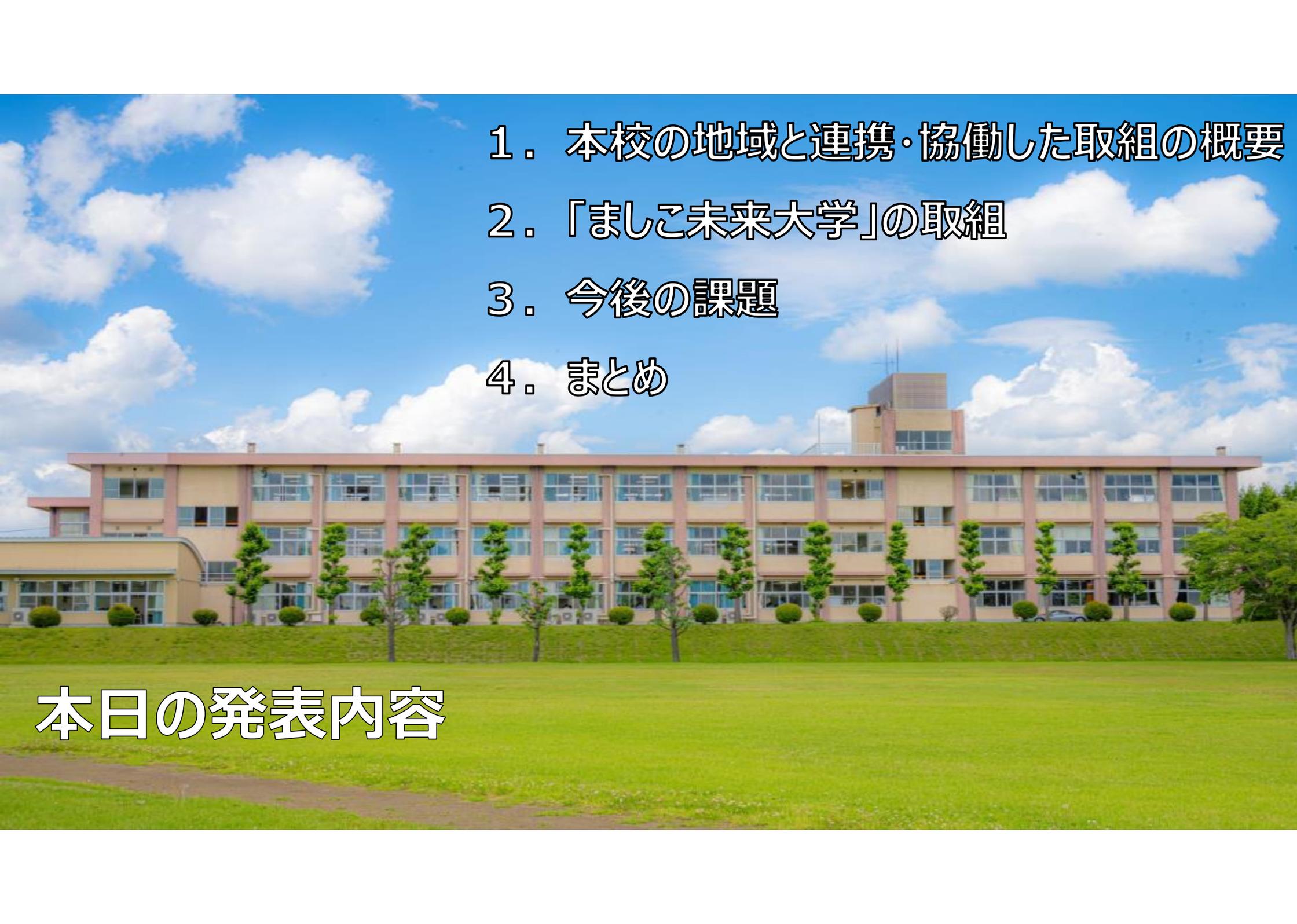
地域社会の未来を担う人材の育成

～ まち、ひと…つながりを大切にする学校を目指した取組 ～

栃木県立益子芳星高等学校

まち、ひと…つながりを大切にする学校
 栃木県立益子芳星高等学校



- 
1. 本校の地域と連携・協働した取組の概要
 2. 「ましこ未来大学」の取組
 3. 今後の課題
 4. まとめ

本日の発表内容



Mashiko Hosei High School



01

本校の地域と連携・協働した取組の概要

取組の概要

◇目指す学校像

1. 個性を伸ばす学校
2. 夢へのチャレンジを応援する学校
3. 豊かな人間性をはぐくむ学校
- 4. まち、ひと…つながりを大切にする学校**

⇒ **地域との連携、地域貢献活動を積極的に推進**

02

未来大学の 取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

01

取組の概要

本校の地域と連携・協働した取組の概要

◇スクール・ミッション

多様な学習機会や地域と連携した社会体験活動を通して、**地域社会の未来を担う人間力を備えた人材を育成する学校**

02

未来大学の 取組内容

◇地域連携に関するスクール・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー

「まち」、「ひと」とのつながりを大切にし、他者と協働しながら地域社会に貢献する人材を育てます。

○カリキュラム・ポリシー

地域文化の理解と体験や、ボランティア活動への積極的な取組を支援します。

○アドミッション・ポリシー

ボランティア活動や地域の活動に積極的に関わり、他者と協働できる生徒

03

今後の課題

04

まとめ

01

地域と連携・協働した取組

取組の概要

◇ねらい

02

未来大学の 取組内容

「まち」「ひと」とのつながりを大切にし、他者と協働しながら地域社会に貢献する人材を育てる

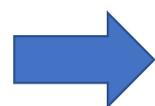
03

今後の課題

- ①地域との関係・信頼づくり
- ②生徒の持つ新たな一面の発掘

04

まとめ



生徒が卒業後、社会に出ていくことを考えると、社会教育・生涯学習の観点から、重要な学習の場となっている。

01

取組の概要

地域と連携した取組を授業内外で積極的に推進

※課外活動などで、ボランティア活動に一定時間参加した生徒には、「学校外学修」の単位認定を実施。

◇令和5年度 益子芳星高校 地域連携活動一覧①

番号	時期 (実施日)	活動名	主催	活動内容	主な対象生徒
1	随時	やわらぎ子ども教室	やわらぎ児童館	児童活動の補助	JRC部、希望生徒
2	随時	JLCましこ	益子町生涯学習課	各種行事への参加	希望生徒
3	7月7日	幼稚園実習	七井幼稚園	絵本の読み聞かせ	3年保育コース
4	4月1日	オヤケコフズフェス	益子町・無印良品	フェス企画・実施・補助	希望生徒
5	4月29日 ～5月7日	春のましこ陶器市 ボランティア	益子塾	案内・環境整備・募金活動	生徒会・福祉委員会・ 家庭クラブ・JRC・ 希望生徒
6	5月 ～令和6年1月	ましこ未来大学	益子町 生涯学習課	地域課題に関すること	2年1組
7	7月20日	コットンウェイ クリーンアップ作戦	真岡鐵道	駅舎清掃	真岡鐵道利用者1年
8	7月25日～27日	インターンシップ	芳賀地区企業ほか	仕事体験	2年2・3・4組全員
9	夏休み	七井幼稚園 保育ボランティア	七井幼稚園	幼稚園児預かり・学童保育補助	希望生徒
10	7月～8月	ぞうきん制作・寄付	ましこの里 星の宮	夏休みに生徒全員がぞうきんをつくり、家庭ク ラブが寄付	2年生全員
11	9月～3月	七井幼稚園保育ボランティア	七井幼稚園	幼稚園児預かり・学童保育補助	希望生徒
12	9月16日	知事と語ろう！ とちぎ元気フォーラムin益子	栃木県	県政について知事と懇談	希望生徒

02
未来大学の
取組内容03
今後の課題04
まとめ

01

取組の概要

地域と連携した取組を授業内外で積極的に推進

※課外活動などで、ボランティア活動に一定時間参加した生徒には、「学校外学修」の単位認定を実施。

◇令和5年度 益子芳星高校 地域連携活動一覧②

番号	時期 (実施日)	活動名	主催	活動内容	主な対象生徒
13	10月 7・8・9日	コスモス祭りボランティア	ましこ花のまちづくり実行委員会	摘み取りコーナー補助	希望生徒
14	10月21日	益子町議会 意見交換会	益子町議会	議会報告・意見交換会	希望生徒
15	8月23日 10月24日	ましとくスクールボランティア	益子特別支援学校	ましこ祭(小学部)参加	希望生徒
16	10月 28・29日	かさましこ日本遺産 文化財公開ボランティア	かさましこ日本遺産活性化協議会	案内・文化財の説明	希望生徒
17	11月 3・4・5日	秋のましこ陶器市ボランティア	益子塾・観光協会	案内・環境整備・募金活動・	生徒会・福祉委員会 ・家庭クラブ・JRC・希望生徒
18	11月 19・23日	青少年ネットワーク(研修会)	芳賀郡市社会教育運営協議会	イベント企画	希望生徒
19	12月17日	花フェスタ(生涯学習振興大会)	益子町生涯学習課	未来大学、インターシップ 発表ほか	2年1組全員・ JRC部・家庭クラブ他
20	12月17日	はが路ふれあいマラソン ボランティア	はが路ふれあいマラソン実行委員会	選手への飲食物等の配布等	希望生徒
21	令和6年 1月17日予定	コース別探究学習発表会(2学年)		2学年 探究活動の発表会	2年生全員
22	1月予定	地域探究活動	益子町観光協会他	地域資源のPRにむけての活動	1年生全員
23	1月24日予定	探究学習発表会(1学年)		1学年 探究活動の発表会	各クラス代表

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

01

益子陶器市でのボランティア活動

取組の概要

02

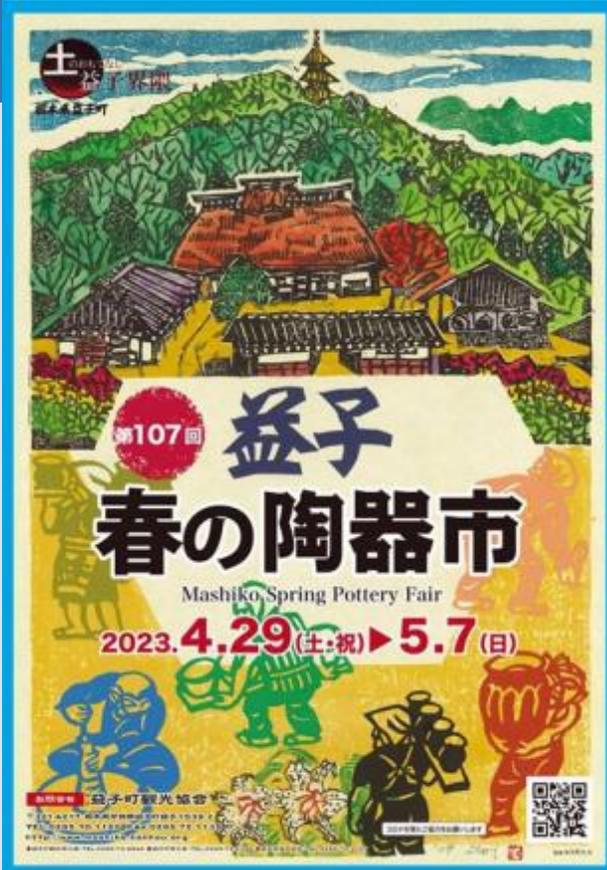
未来大学の 取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



◇目的

- (1) 「まち」とのつながり、「ひと」とのつながりを大切にする人間を育てる。
- (2) 地域行事に参加することを通して、地域に貢献することの重要性を認識させる。

◇経緯

ボランティア団体の益子塾からの依頼で、平成16年度から実施。
(コロナ禍で、令和2～4年度は中断し、令和5年度から再開)



01

益子陶器市でのボランティア活動

取組の概要

02

未来大学の 取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



01

七井幼稚園でのボランティア活動

取組の概要

02

未来大学の取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

令和5年度 夏休み!!!
保育ボランティア募集!!!

1 目的
 (1) 幼児教育および養護の姿勢や思いやり、また将来の進路・職業選択などの良い機会にする。
 (2) 幼児や保護者・職員との関わり、コミュニケーションなど、学校だけで得られない知識や経験、能力を身につける。
 (3) 頼られたり、感謝されたりすることで、やりがいや自信、責任感を身につけ、自立への意識改革の一助にする。

2 日時
第1期 夏休み期間【7月24日(月)～8月25日(金)】
 8:30分～17:00
 ①8:30～11:30 ②13:00～17:00

3 会場 認定こども園 七井幼稚園 (藤子町大沢 1456-2)

4 対象 全学年 男女問わず

5 内容
 2歳から5歳までの預かり保育園児の保育補助
 乳児部・学童の保育補助(夏休み・春休みのみ)

6 その他
 詳細は別紙申し込みに記載
 不明な点は、担当まで!!!

7 担当から
 将来、保育士を目指しているみなさん、子どもが好きみなさん、働くことを体験してみたい皆さん、地域を盛り上げていきたい皆さんなど、責任感・安全意識をもってしっかりと取り組むことができます。そんな皆さんの参加を待っています!!!
 事前・事後指導(各30分程度)があります。通って連絡いたします。

申し込み方法【6月26日締め切り】
 クラスに配布されている申し込み用紙に記入し、担任まで提出してください。不明な点は、担当：飯村まできてください。

◇目的

- (1) 幼児教育および養護の姿勢や思いやり、また将来の進路・職業選択などの良い機会にする。
- (2) 幼児や保護者・職員との関わることを通して、コミュニケーション能力など学校生活だけで得ることのできない資質・能力を身につける。
- (3) 頼られたり、感謝されたりすることで、自己有用感を高め、自立への意識改革の一助にする。

◇経緯

平成28年度に家庭クラブ活動として、保育ボランティアを実施。平成29年1月から、平日の放課後ボランティア活動も実施している。



01

七井幼稚園でのボランティア活動

取組の概要

02

未来大学の 取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



01

取組の概要

02

未来大学の 取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

「ましこ未来大学」における取組の実践

令和4年度 ましこ未来大学カリキュラム

回	開催日	内 容
1	4/27(水)	開講式 【町の概要】 ▼町長の講話／大塚町長
2	5/18(水)	講義① 【趣旨・目的 説明】 ▼地域と連携し、まちづくりを考える／廣瀬氏 ▼アクションプラン作成の進め方／廣瀬氏
3	6/1(水)	校外学習① 【町内主要箇所の視察】 ▼西明寺、道の駅、窯業指導所、メッセ等 ※移動には公民館バスを使用
4	6/8(水)	講義② 【町の課題】 ▼事務局が設定した課題について、町内の各分野における専門的知見を持つ方の講義及び質疑 ○日本遺産・世間遺産・観光 ○図書館 ○農業・道の駅 ○子育て・少子化 ○福祉 ○観光 (5~6 件を想定)
5	6/22(水)	講義③
6	7/13(水)	WS① 【ワークショップ】 ▼課題に対する視察先の検討 ▼視察先へのアポイントメントの取り付け
7	7/26(火)	校外学習② 【課題に対するフィールドワーク】 ▼グループごとに分かれ活動 ※移動には公民館バスを使用
8	7/27(水)	WS② 【ワークショップ】 ▼アクションプラン作成作業／OB
9	7/28(木)	WS③ 【ワークショップ】 //
10	7/29(金)	WS④ 【ワークショップ】 企画書まとめ
11	9/7(水)	WS⑤ 【ワークショップ】 企画書校正(廣瀬先生による)
12	9/21(水)	WS⑥ 【ワークショップ】 //
13	10/12(水)	WS⑦ 【ワークショップ】 中間発表
14	11/2(水)	WS⑧ 【発表リハーサル】 ▼最終調整／廣瀬氏・OB
15	11/9(水)	閉講式 【アクションプラン発表】 ▼各グループの発表会／廣瀬氏・OB ▼町長出席不可 ※12月 花フェスタ実施予定

◇目的

地域づくりの面白さや自分たちの企画が実現する喜びを体験することにより、地域への愛着を育み、将来の益子町のまちづくりの担い手を育成すること。

◇経緯

令和3年度から実施。今年で4年目の取組



01

取組の概要

「ましこ未来大学」における取組の実践

◇令和4年度までの取組

→ 「アクション・プラン」を作成し、町長に向けて提案した。

02

未来大学の 取組内容

【過去2年間の反省点】

○成果

役場職員等による講義（町の問題提起）は、意義があった。

○課題

- ・生徒の理解度の温度差 → 課題意識の形成には結びつきにくい
- ・実践が伴わないので、生徒の成就感や達成感が低い。



学習プログラムの改革が必要

04

まとめ

03

今後の課題

01

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

令和5年度のましこ未来大学の取組

実践を核に据える

12月16日（土）生涯学習振興大会—町民のつどい—で

だがしや楽校を実践。

01

取組の概要

令和5年度のましこ未来大学の取組

だがしや楽校

02

未来大学の
取組内容

◇取組内容

- ・個人の趣味や関心事などを「見せ出し」形式で披露しあい、多彩な「見せ」を介して会話交流を楽しむ
- ・お祭りの屋台の形式をとり、アイデアは店主が好きなように展開する。

03

今後の課題

◇活動のねらい

- ・個人と個人が「見せるもの」を介して会話し、気軽に交流し、つながりあう

04

まとめ

01

だがしや楽校とは

○考案者：松田道雄氏（尚絅大学教授）

○誰もができる遊びを通して、世代交流、創意工夫、社会のマナーを身に着ける試みとして1997年から始まる。

○活動の特徴・ポイント

- ①多様な人の交流場所
- ②どこでも容易に開催可能
- ③開催者が目的に応じて、プログラムを設定できる
- ④誰もが教える立場になりえる

取組の概要

02

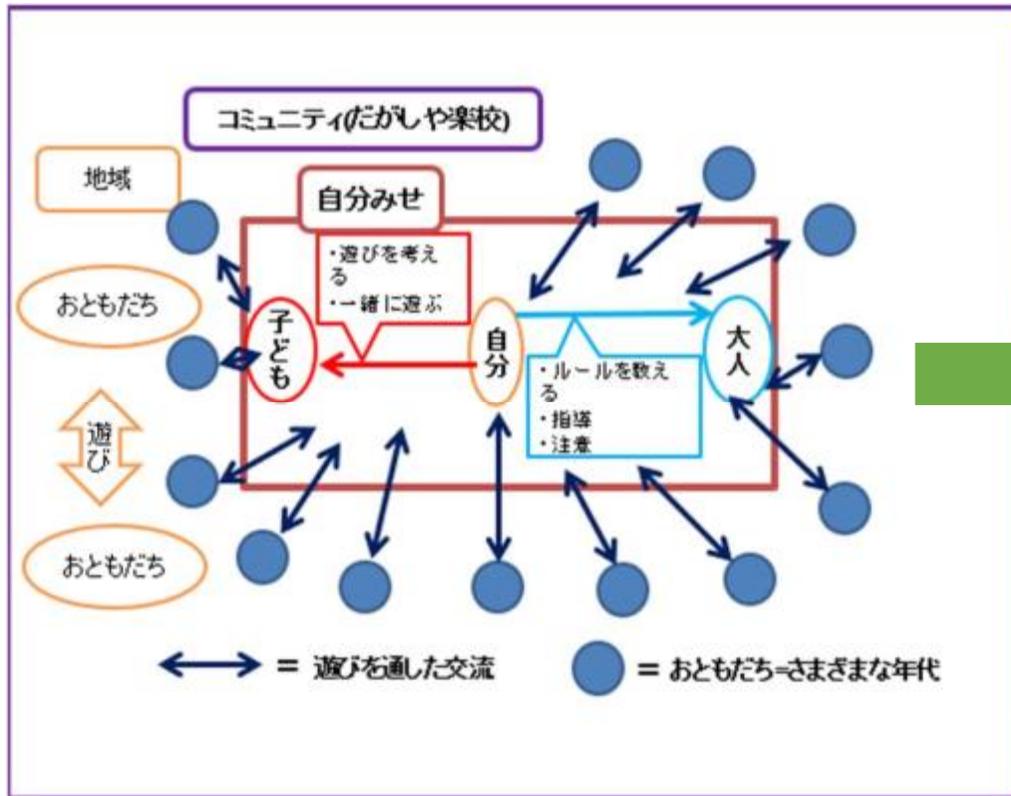
未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



たくさんの人との交流から
さまざまな学びや気づき

だがしや楽校の『楽』は
楽しいの『楽』

01

だがしや楽校とは

取組の概要

02

未来大学の取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

だがしや楽校

特定非営利活動法人教育支援協会南関東

学習テーマ: 地域理解, その他

教科: 小学校外国語活動, 小学校総合的な学習の時間, 小学校特別活動, 中学校総合的な学習の時間, 中学校特別活動, 高校総合的な学習の時間, 高校特別活動

【プログラムの概要】
「読み、書き、計算」を中心とした学校に対して、学校ではあまり学べない「教養」を、時代変化、協働学習が求められる学校を支援して子どもの成長に必要な環境を創り出しています。

【必要科目】
国語・・・必経
外国語・・・必修
理科・・・必修（必修）

【URL】
<http://dangashiyaakaku.com/>

【対象・実施地域】 特定非営利活動法人教育支援協会

対象学年	実施可能校	実施エリア
幼稚園～保育園	学校の授業	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、岡山県、広島県、山口県、福岡県、佐賀県、長門県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
小学校1年生	特別活動	
小学校2年生	特別活動	
小学校3年生	特別活動	
小学校4年生	特別活動	
小学校5年生	特別活動	
小学校6年生	特別活動	
中学校1年生	特別活動	
中学校2年生	特別活動	
中学校3年生	特別活動	
高校1年生	特別活動	
高校2年生	特別活動	
高校3年生	特別活動	
特別支援学校		

お問い合わせ

企業・団体	担当	連絡先（電話番号）	連絡先（メールアドレス）
特定非営利活動法人教育支援協会南関東	事務局	043-243-6840	minami-kanto@super-ya.com

お問い合わせが実施されていない場合は、お問い合わせまでお問い合わせください。

○駄菓子屋の持つ教育的価値を活用
→ 自由で楽しい交流の場、子どもの新たな可能性や能力に気づくことができる場



学校教育、駄菓子屋的教育双方が人間の成長のためには大切

○山形県を中心に、全国各地で取り組まれる。
・令和5年度 長野県看護大学の実習でも行われる。
・NPO法人教育支援協会など、多くの団体で実践されている。

○取組の成果
地域の多様な人々が関わることで、子供の情操教育、大人と子供の交流、地域社会の再生・活性化に貢献

01

取組の概要



02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題



04

まとめ



01

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

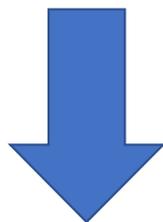
実践までのスケジュール

9月

①企画書制作

②実験

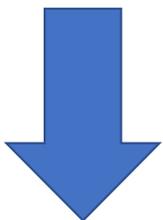
③試作品作り



- ・何を作りたいかインターネットを用いて調べる。
- ・製作に必要な材料を調べ、買いそろえる。

10月
11月

④小道具の作成



材料の加工。(切断、下準備) →→→ 試作品の作成・改良

12月

⑤リハーサル

⑥最終確認

⑦本番

リハーサルでは、3年生に体験してもらった。助言をもらい、リハーサルの反省とその改善を実施した。

01

取組の概要

各班の「だがしや楽校」プログラム

班

プログラム

1班

オリジナルコマの製作

2班

さかな釣り

3班

スノードームづくり

4班

お菓子のうちとでんでんだいごづくり

5班

おかし釣り

6班

輪投げ・ストラックアウト

7班

きらきらシャボン

8班

くじ引きと輪ゴム鉄砲

9班

ペットボトル射的

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

01

取組の概要

令和6年度のましこ未来大学の取組

02

未来大学の
取組内容

昨年の子どもを対象とした「だがしや楽校」から
幅広い年代を対象とした実践へ

03

今後の課題

**益子の人々のために自分たちができることを
考え、行動する！！**

04

まとめ

01

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

令和6年度のましこ未来大学の取組



01

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

令和6年度のましこ未来大学の取組



令和6年度のましこ未来大学の取組

01

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



01

取組の成果（生徒対象のアンケートより）

取組の概要

◇自己評価アンケート
活動を通して地域の自然・歴史・文化や資源を理解し、地域課題の背景を踏まえた取組の実践ができたと答えた生徒の割合

02

未来大学の 取組内容

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	目標値	結果	目標値	結果	目標値	結果
よくできた・できた	60%	79%	65%	89%	70%	96%
あまりできなかった ・できなかった	—	21%	—	11%	—	4%

03

今後の課題

04

まとめ

**地域連携の趣旨や意図が生徒に浸透しており、
大きな成果を上げている**

01

取組の成果（学校評価アンケートより）

（上段 令和4年度 下段 令和5年度）

【生徒対象】

本校は、ボランティア活動等への積極的な参加等を通して地域と連携し、地域社会に貢献している。



【保護者対象】

本校は、ボランティア活動等への積極的な参加を通して地域と連携している。



取組の概要

02

未来大学の取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

01

取組の成果（生徒対象のアンケートより）

◇一人の生徒が、
卒業までに地域連携や地域課題解決に取り組む回数

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

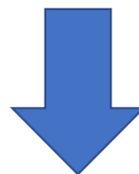
年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回 数	4回	5回	6回

03

今後の課題

年々平均取組回数は増えてきており、全体としての地域への理解は深まってきていると言える。

⇒ 各学年で2回ずつ取り組んでいる計算



04

まとめ

各個人により取組回数に差があるため、今後は、より多くの生徒が地域連携活動に参加できるよう取組に対する意識の改善等が課題である。

01

令和5年度、益子町の町議会議員からの声

「益子をよりよくするために、**具体的な手立て**について、
考えてほしい」

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

提案レベル

- 当事者意識なし
- アイデアマン止まり
(実現可能性?)
- 学校内外への発信

実践レベル

- 当事者意識をもって
取り組む
- 自分にできることを探究
- 対話 + 行動面での役割を
探究
- 学校内外との協働

03

今後の課題

04

まとめ

01

益子に住む、益子に通う1人の市民として

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

**どんな困りごとがあるのか、どんなことができたら、
もっと益子がおもしろいところになりそうか**

03

今後の課題

**もっと、益子に入り込み、益子の人とともに色々
な行動ができるのでは？**

04

まとめ

01

「益子」にもっと関わるために

取組の概要

02

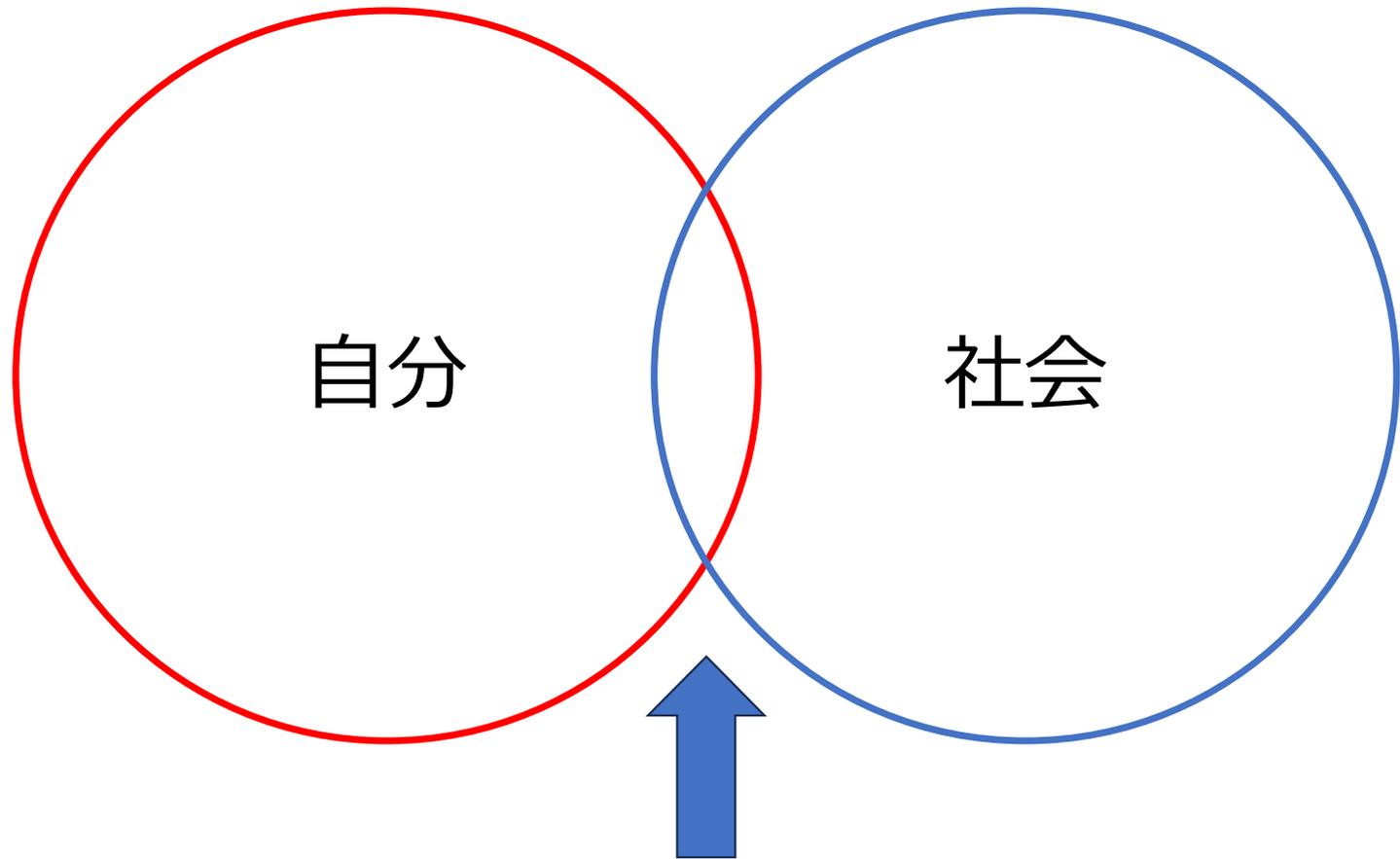
未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



自分と社会の接点を増やしていく

01

「益子」に関わる人を通して、自分たちも当事者として関わる

取組の概要

02

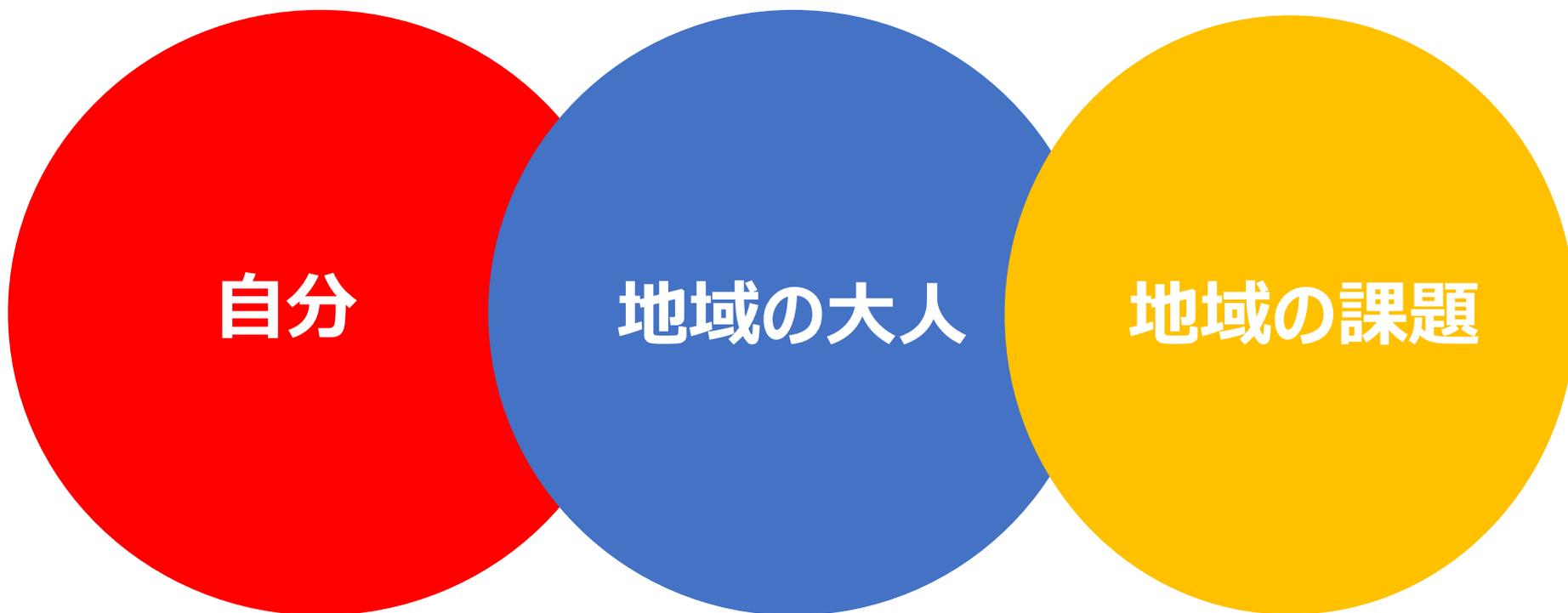
未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



益子の大人との関わりを増やすことで、いろいろな取り組みが生まれる！



OTF大作戦！！（大人の友達増やそう大作戦）

01

益子に住む、益子に通う1人の市民として

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

「居場所」と「舞台」

03

今後の課題

地域に居場所と舞台を持っているという実感が高い人ほど、幸福度が高く、加えて、引き続き住み続けたいという定住意思も高い

(福井県立大学 高野翔 准教授)

04

まとめ

01

「居場所」と「舞台」に関する芳星高の取組

◇幼稚園実習



○目的

園児とのふれあいや交流を図る学習活動を通して、園児の発達の特徴や園児の生活と保育などを具体的に理解する。

○実施内容

授業の一環として3年生が年2回（7月、12月）、2年生が年1回（1月）幼稚園に実習に行く。

【主な実習内容】

- ①園児たちとのふれあいや交流
絵本の読み聞かせなど
- ②生徒が授業で作った「エプロンシアター」を園児たちに発表



取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ

01

「居場所」と「舞台」に関する芳星高の取組

◇オヤケコフンスフェス

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



○目的

小宅古墳群里山を「面白いひと」を増やすために、どのようなコト・モノが必要か、高校生の目線で考え、「コラボ」する企画の立案・実施を行う。

このような取組を通して、地域にはたくさんの地域資源があることを理解する。また、企画の立案・実践などの取組を通して、地域課題の解決につながる価値観や行動について考えを深め、地域を愛する心を育み、持続可能な地域社会を創造できる担い手であるという意識を醸成する。



01

今年新たに始めている取組

◇益子陶器市の来客者にアンケート調査

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



○ましこラボとコラボして、アンケートを作成。

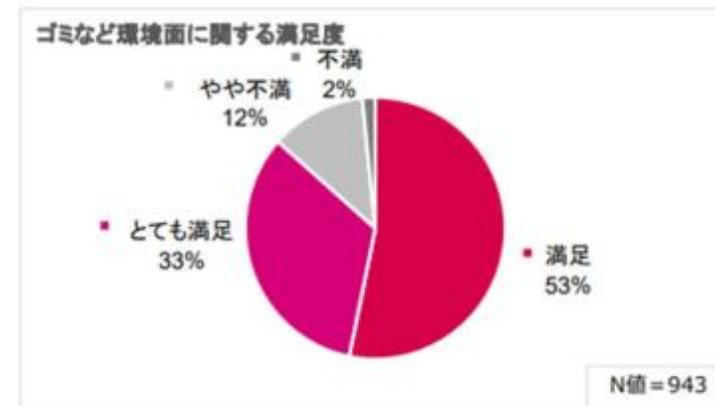


○観光客にアンケートの協力呼びかけ



○集計データをもとに、陶器市の課題を抽出し、具体的な改善の手立てを提案

【アンケートデータから分かったこと】



- ・「ゴミなど環境面」に関してはやや満足度が下がっている。
- ・交通規制のほかキッズスペースなど子どもへの対応も求めている。

01

多くの生徒が

①地域住民との接点 ②「居場所」と「舞台」を体感

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

地域と連携・協働した取組を学校の教育課程と関連付けを図っていくことが重要

03

今後の課題

○地域社会や高等教育機関等の関係機関と連携・協働した学びの実現

○地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科

・地元市町村を中心とする地域社会の有する課題・魅力に着目し、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する資質・能力を育成

・地元の市町村、高等教育機関、企業・経済団体等との連携・協働により、フィールドワークや事例研究、社会人講座などを実施

04

まとめ

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ審議まとめ（概要）

～多様な生徒が社会とつながり、学ぶ意欲が育まれる魅力ある高等学校教育の実現に向けて～

01

第三期県立高等学校再編計画

商業や地域の特色を生かした科目等の充実

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

科目名	実施内容	主たる連携先
ビジネスコミュニケーション	陶器市の運営に関するインターンシップ	益子町観光協会
日本史探究	日本遺産に関する観光ガイド	益子町生涯学習課
地理総合	防災教室の運営	益子町
美術（クラフトデザイン）	七井駅	待合室の壁面改良などワークショップ
美術（ビジュアルデザイン）	陶器市	陶器市のマップ改良
体育	ニュースポーツ	益子特別支援学校・社会福祉協議会
英語（論理表現）	陶器市	英語での観光ガイド

04

まとめ

様々な授業で、連携・協働した取組が期待できる

01

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して

取組の概要

02

未来大学の
取組内容

03

今後の課題

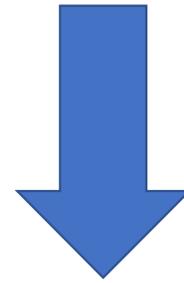
04

まとめ

学校【教員・生徒】

と

地域【学校運営協議会】が協働していく



「地域とともにある学校」の実現

01

地域との連携・協働の取組を通じて、地域社会全体のウェルビーイングが高まる！

取組の概要

02

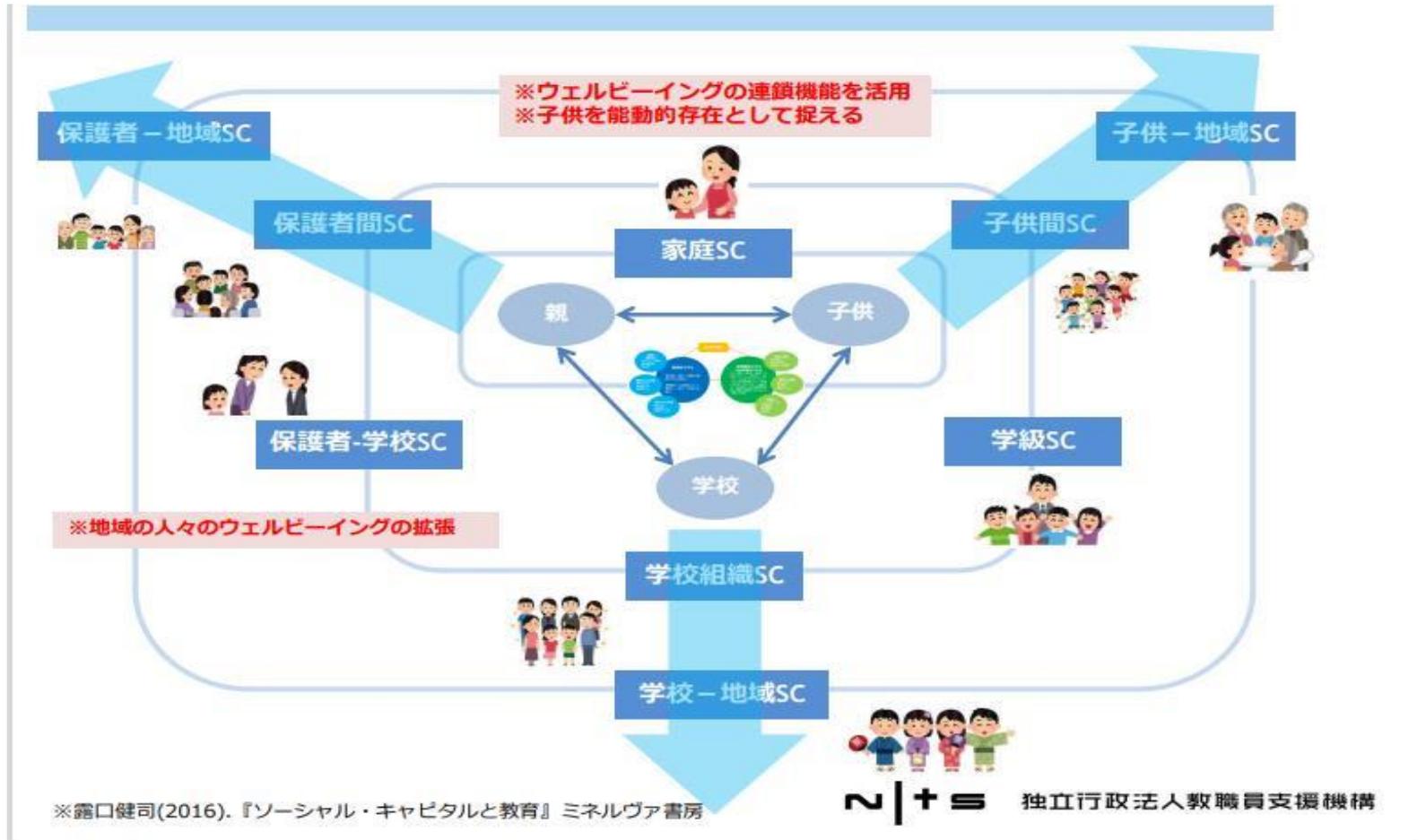
未来大学の
取組内容

03

今後の課題

04

まとめ



⇒ 協働した取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成
= 「学校を核とした地域づくり」の実現へ！

～ めざせ、輝く一番星！ ～



益子芳星高等学校